



zoom up human 2 human 2 human 2

日本を愛して名古屋を愛する
外資系企業の風雲児
—ボディコート・ジャパン株式会社 代表取締役—

ジュリアン・ベイショア



〈企業data〉
ボディコート・ジャパン株式会社
名古屋西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー40F
TEL 052-912-5518
http://www.bodycote.co.jp
「名古屋で働くアメリカ人 ジュリアン・ベイショア」
公式ブログ
http://www.bashore-julian.com

3月、日本法人設立 本社は名古屋に

ブアイソー(以下**b**)会社の事業内容を教えてください。

J ジュリアン社長(以下**J**) 我々の本社はイギリスのマンチェスターにあり、事業は熱処理加工、ということもメーカーではなくメーカーに対して熱処理加工というサービスを提供しています。自動車部品関係、航空関係、航空宇宙産業などOEMですね。



b 熱処理加工とは？
J (身近なもので言えば)フォークやナイフ。そのままと非常に柔らかくて使えません。そこに熱処理加工をすることで硬さが増し耐久性が高まります。鉄道車両のブレーキなどはこの役割が非常に大きい例です。

b 自動車や航空と聞くと今の景気による影響が気になります。
J (もしメーカーであれば)原材料を輸入し国内で製造しますが、当社は輸入販売ではないので、幸いにも為替によるリスクはありません。これは当社の強みでもあります。

b 日本法人設立で本社を名古屋に置く例は今まであまり聞きませんでした。そのメリットは何でしょうか？
J (当社は、海外で25年前から日系企業と付き合いがあります。その得意先のほとんどが自動車メーカーで本社は愛知県だったこともあり、拠点に名古屋を選びました。

メリットはいろいろ感じています。おっしゃるとおり、東京だと1年で

何百社もの外資系企業が進出するのに名古屋ではほとんどない。大変目立ち注目を浴び、知名度を上げるのに有効でした。

また、物価は家賃ひとつとっても東京より安いのは魅力です。そして、東京にも大阪にも近く、物流のみならず人もつまり出張しやすいの助かります。2025年にリニアができればさらに近くなり、1日2往復でもできてしまいうすすよね。

b 逆に残念だと思ったことは？
J (東京に比べ)バイリンガルの人材が非常に少ないことでしょうか。我々のクライアントは日系企業なので、基本的に日本語で問題ないのですが、やはりスターティングメンバーにはバイリンガルが必要です。東海地方は売り手市場とはいえ良い人材はほとんど在職中で、すぐには転職できない状況だったりします。そのあたりは東京の方がフットワークが良いですね。

b 人材確保の対策は何かされたのですか？
J (東京で募集をかけた。ただし、ターゲットは愛知県出身者です。Uターン希望の方は結構いて素晴らしい

若干30歳半ばにして代表取締役として会社を引っ張っているジュリアン・ベイショア氏。名前と外見は確かに外国人だが、身心は日本人よりニホンジンだ。そんなジュリアン社長率いるボディコート・ジャパン(株)は、本社を東京ではなく名古屋に置いたことでも話題に。3月の日本法人設立からスタートダッシュで勢い付いている同社と社長に、ズームイン!

い方に集まっていただけでした。今私のパートナーも東京からのUターン組です。

あとはメディアに積極的にアピールしたり、経営者ブログも開設しました。すべて日本語で書いています。おかげさまで、ここ半年ほど徐々に知名度をあげることができました。今後、愛知県内での人材確保にも力が入りますね。我こそはと思う方、ぜひ一度ご連絡ください(笑)。

日本の、そして名古屋との縁

b 社長の日本語には頭が下がります。日本への興味はいつからですか？
J 90年代のアメリカは「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と言われ、自動車メーカーなど日系企業が進出し始めていました。私はペンシルベニア大学の経済学部生で、当時は皆ロシア語を学んでいましたが、日本に詳しい学者が少なかったのが私は日本語を

勉強し、3年生の時に京都へ留学しました。祇園祭で曳き手も経験し、様々な日本文化に触れ、さらに日本が好きになりました。

b なるほど、では卒業後は日本企業に就職を？
J (いえ、日本語ができる人材を募集していたアメリカの塗料メーカーに就職しました。3年後に日本に転職があり、それが名古屋でした。ちょうど10年前です。本音は東京で仕事をしたいのですが(笑)。

b でもそれが名古屋との縁の始まりだったんですね。今の会社で「日本人の代表取締役を」と言われた時はどんな気持ちでしたか？
J (各国のボディコート社のトップは皆熱処理加工の経験が豊富なのに、今回異業種出身で全く経験がない35歳の私を選んできたことは大変嬉しかったですね。確かに年齢的なプレッシャーは感じましたが、アメリカではよくある事ですのであまり気になりませんでした。

b オフ会にも参加ですか？
J (はい、経営者というところほとんどが50〜60代の方で年上。それもいいのですが、同じ30代と交流するにはそういうオフ会が大事です。名古屋は転勤族が多いために人脈が作り難いですね。実は私は転勤族の中だとかなり先輩になるんですよ(笑)。転勤族の方もそうじゃない方も、私のブログやSNSで気軽に声をかけて



Julian Bashore

「今年が年男です。」なんてサラリと語るほど日本語と日本カルチャーに精通しているジュリアン社長。そのパワーと人柄に触れれば、外資系ならではの魅力と同社の将来性の確かさを感じるだろう。